

用語集

あ 行

赤潮：海水や河川の水の中でプランクトンが異常繁殖し、水の色が変色する現象。水が赤褐色に染まることが多いため、「赤潮」と呼ばれる。

ICT：Information and Communication Technology（情報通信技術）の略で、通信技術を活用したコミュニケーションを指す。

雨水：降雨によって流域から生じる表面水。

※ 流域・・・一つの河川に降水が流入する全区域のことで、流域が接するところを分水界という。

汚水：トイレ排水や生活雑排水、工場からの生産活動による排水などの汚れた水。

※ 生活雑排水・・・台所や洗面所、浴室などからの排出される汚れた水。

汚水処理費：下水道の管理に要する経費のうち汚水に係る維持管理費及び資本費の合計。下水道使用料で回収すべき経費は公費負担分を除く汚水処理費である。

か 行

改築更新：下水道施設の全部又は一部の再建築あるいは取り替えを行うこと。

管渠：下水を収集し、排除するための施設。

管渠老朽化率：法定耐用年数（50年）を超えた管渠延長の割合を表した指標。

企業債：地方公営企業法上、地方公営企業の建設、改良などに要する資金に充てるため起こす地方債。

企業債残高：事業者の年度末における地方債の残高。

供用開始：下水道の処理区域において、下水道が使用可能になったことを表す。

嫌気無酸素好気法：下水処理場での水処理方法のひとつ。窒素とリンの除去を目的に標準活性汚泥法を改良した排水処理であり、反応タンクが嫌気槽と無酸素槽と好気槽の3つの槽で構成されている。

公営企業：地方財政法第5条第1項に基づき地方公共団体が特別会計を設けて運営される事業。

公共用水域：水質汚濁防止法上、河川、湖沼、港湾、沿岸海域その他公共の用に供される水域及びこれに接続する公共溝きょ、かんがい水路その他公共の用に供される水路のことをいう。

※ 公共溝きょ・・・公共の用に供される溝きょ。下水道では処理場を有しておらず、かつ、流域下水道に接続していない下水道（雨水管）と都市下水路をいう。

高度処理：標準活性汚泥法で得られる処理水質以上の水質を得る目的で行う処理。窒素やリンをさらに取り除くことができる。

さ 行

事業計画：公共下水道を設置しようとするときに下水道管理者が定める計画のこと。5～7年の期間に実施する計画で、予定処理区域、計画下水量、設置する施設の能力等を定める。

資本費：減価償却費、借り入れた借金の利息（一時借入金の利息を除く）、起債取扱諸費等の合計額。

市街化区域：既に市街地を形成している区域及び概ね 10 年以内に優先的、計画的に市街化を図るべき区域。都市計画法に基づき指定される。

市街化調整区域：市街化を抑制すべき区域。開発行為は原則として抑制され、都市施設の整備も原則としておこなわれない。都市計画法に基づき指定される。

処理区内人口：下水道が利用できる区域に居住する人口。

人口普及率：市内の全人口に対する、下水道が利用できる区域の人口の割合。

ストックマネジメント手法：持続可能な下水道事業の実施を図るため、明確な目標を定め、膨大な施設の状態を客観的に把握・評価し、中長期的な施設の状態を予測しながら、下水道施設を計画的かつ効率的に管理すること。

接続率：下水道を利用できる区域の人口に対して、下水道へ接続している人口の割合。

た 行

段階的高度処理：標準活性汚泥法の下水処理場において、既存施設・設備を活かし、運転管理の工夫と最小限の設備改造を組み合わせることで、窒素やリンの削除効果を高める水処理方法。

地方公営企業法：地方公共団体の経営する企業の組織・財務・職員の身分について定めた法律。

単独公共下水道：主として市街地における下水を排除し、又は処理するために地方公共団体が管理する下水道で、終末処理場を有するものであり、かつ、汚水を排除すべき排水施設の相当部分が暗渠である構造のものをいう。

都市計画決定：都市計画法第 19 条により、「市町村は、市町村都市計画審議会の議を経て、都市計画を決定するものとする。」と定めている。下水道は、都市計画に定めることができる都市施設である。

は 行

標準活性汚泥法：下水処理場での水処理方法のひとつで、反応タンク（エアレーションタンク）内で下水と活性汚泥をエアレーションによって混合後、最終沈殿池内で、活性汚泥を沈殿分離し、上澄水を処理水として流出させる方法。

※ 活性汚泥・・・下水に空気を吹き込み攪拌すると種々の微生物が繁殖し、凝集性のあるフロック（微生物の集合体）を形成する。これを活性汚泥といい、有機物の吸着能や参加能に優れ、また、沈降性もきわめて高く下水の生物的処理に用いられる。

※ エアレーション・・・空気と液体を接触させて液体に酸素を供給すること。

富栄養化：海水や河川の水に含まれる窒素やリン等の栄養塩素が豊富になること。富栄養化が進行すると、植物プランクトンが異常繁殖し、赤潮や青潮が発生する要因となる。

分流式下水道：汚水と雨水とを別々の管渠系統で排除する方法。分流式は、汚水のみを下水処理場に導く方法であるため雨天時に汚水を公共用水域に放流することがないので、水質汚濁防止上有利である。

閉鎖性水域：湖沼や内湾のように水の滞留時間が比較的長く、水の交換が行われにくい水域をいう。富栄養化現象が生じる可能性があるという特徴がある。

法適用：地方公営企業法の規定を適用すること。地方公営企業法の全部の規定を適用する「全部適用」と、財務規定のみを適用する「一部適用」に区分される。

や 行

有収水量：下水処理場で処理した汚水のうち、下水道使用料収入の対象となる水量のこと。

有収水量密度：処理区域面積 1ha 当たりの年間有収水量。

有収率：処理した汚水のうち、下水道使用料収入の対象となる有収水の割合を示したものの有収率が高いほど下水道使用料収入の対象とすることができない浸入水が少なく、効率的であるといえる。

ら 行

流域関連公共下水道：主として市街地における下水を排除し、又は処理するために地方公共団体が管理する下水道で、流域下水道に接続するもの。

※ 流域下水道・・・2 以上の市町村からの下水を受け処理するための下水道で、終末処理場と幹線管渠からなる。事業主体は原則として都道府県である。